

授業科目名	服装造形論Ⅰ【服装造形論】							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	無	時限数	120	単位数	4
担当教員	工藤 益美	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル縫製工場での縫製・パターン作成の経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	基本的な衣服の構造と縫製法を学修し、人体を包む衣服の構成を通年で学ぶ。 一般知識、概説、用具説明、縫製の基礎、パターン記号、サイズの知識をスカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品を通じ理論的に学ぶ。							
到達目標	衣服の構造と縫製法を、スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品の製作を通じて、服装知識、洋裁道具、素材、製図、地直し、裁断、補正、縫製を理論的に考え述べるができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	試験	70	試験、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座②『スカート・パンツ』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局) ・一般社団法人日本ファッション教育振興協会『パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック』 ・一般社団法人日本ファッション教育振興協会『洋裁技術認定試験問題集』 							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	基礎知識 ・製図、裁断、縫製に必要な用具の種類と名称 ・体型によってでるシワの原因と補正方法 ・一般的な服種の名称、素材	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	工藤
2	4-9 (6)	原型 ・原型とは ・原型の種類 ・原型の使い方	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	工藤
3	10-18 (9)	スカート ・スカートとは ・スカートの変遷 ・スカートの機能性、動作と体型	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	工藤
4	19-30 (12)	ブラウス ・ブラウスとは ・ブラウスの変遷 ・ブラウスの機能性、動作と体型	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	工藤
5	31-48 (18)	ワンピース ・ワンピースとは ・ワンピースの変遷 ・ワンピースの機能性、動作と体型	事前:上記のテキスト該当箇所の予習 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	工藤

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	49-57 (9)	パンツ ・パンツとは ・パンツの変遷 ・パンツの機能性、動作と体型	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	工藤
7	58-69 (12)	ジャケット ・ジャケットとは ・ジャケットの変遷 ・ジャケットの機能性、動作と体型	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	工藤
8	70-81 (12)	ショー作品 ・ショー作品とは ・コレクションアイテムとリアルクローズの違い	事前:上記のテキスト該当箇所の予習	講義	工藤
9	82-84 (3)	服装知識 ・一般的な服種の名称、素材 ・部分的服飾および、服飾手芸の基本的な名称と技法の説明	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	工藤
10	85-87 (3)	洋裁道具 ・製図、裁断、縫製に必要な用具の種類と名称 ・正しい使用方法、手入れ方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	工藤
11	88-90 (3)	素材 ・繊維の名称と種類、特徴 ・布地の種類と基本的な名称 ・服種に対する布地の選び方	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	工藤
12	91-93 (3)	製図 ・原型の理解と基本的なダーツ移動 ・基本的な製図 ・衿の形と製図 ・袖山の高さ、幅、運動量について	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	工藤
13	94-96 (3)	地直し ・綿、ウール、化繊、芯地の取り扱い ・地直しの方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	工藤
14	97-99 (3)	縫製 ・素材に対する縫製上の注意点 ・素材に対してのアイロンの使用法 ・針の名称、素材に適した太さ(番手) ・糸の名称、素材に適した太さ(番手)	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	工藤
15	100-120 (21)	パターンメイキング試験対策 ・PM検定試験の概要 ・既製服の概念 ・グレーディング ・パターンメイキング用語	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	工藤

授業科目名	服装造形 デザイン I【服装造形 デザイン】							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	工藤 益美	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル縫製工場での縫製・パターン作成の経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	アイテム別の成り立ち、スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケットの基本のデザインから、応用デザインまでの構造とアイテム別のディティールの名称を学ぶ。							
到達目標	アイテム別(スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット)の基礎デザイン知識を解釈し、流行やオリジナリティを加味したデザイン展開を実践することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	作品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座②『スカート・パンツ』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局) 							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-6 (6)	基礎知識 ・アイテムの分類 ・アイテムの短縮表記	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト該当箇所の振り返り・考察 レポート提出	実習	工藤
2	7-12 (6)	スカート ・形態による名称と素材 ・ウエスト部分の形態による変化 ・スカート丈の名称	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポート作成	実習	工藤
3	13-18 (6)	ブラウス ・形態による名称 ・ディティールの名称(衿、カフス、ポケット) ・ブラウスのシャツの素材	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポート作成	実習	工藤
4	19-24 (6)	ワンピース ・形態による名称 ・シルエット、デザイン線について ・ネックラインの名称 ・袖の名称	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポート作成	実習	工藤
5	25-30 (6)	パンツ ・形態による名称と素材	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポート作成	実習	工藤

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	31-36 (6)	ジャケット ・ジャケットの変遷 ・形態による名称 ・素材による名称	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポート作成	実習	工藤
7	37-48 (12)	ショー作品 ・形態による名称と素材	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポート作成	実習	工藤
8	49-60 (12)	服装知識 ・一般的な服種の名称、素材 ・ネックライン、衿、袖、スカート、パンツなどの基本的な種類と名称 ・簡単な説明、図の表記	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト該当箇所の振り返り・考察 レポート提出	実習	工藤

授業科目名	服装造形ソーイング I【服装造形ソーイング】							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	無	時限数	360	単位数	12
担当教員	工藤 益美	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル縫製工場での縫製・パターン作成の経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	衣服の構造と縫製法を、スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品の製作を通じて、ミシンの取り扱い、地直し、印つけ、仮縫い合わせ・補正、裁断、縫製を学修する。							
到達目標	衣服の構造と縫製法を、スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品の製作を通じて、ミシンの取り扱い、地直し、印つけ、仮縫い合わせ・補正、裁断、縫製ができる事を可能とする。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	作品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座②『スカート・パンツ』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局) 							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	学習方法	担当教員
1	1-3 (3)	ミシン講義 ・ミシンの種類について ・ミシンの取り扱いと部品 ・ミシン練習、操作方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	演習	工藤
2	4-9 (6)	基礎知識1 ・基礎手縫い 並み縫い、本返し、半返し、逆からの返し、置きじつけ、切りじつけ、普通まつり、奥まつり、千鳥、立ち千鳥	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	演習	工藤
3	10-18 (9)	基礎知識2 ・裁断、印付けについて ・布地に合わせた糸、針の選び方	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	実技	工藤
4	19-33 (15)	原型 ・身頃原型の縫い合わせ ・スカート原型の縫い合わせ ・体型に合わせた調整の方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	実技	工藤
5	34-81 (48)	ブラウス ・オリジナルパターンを使用した裁断、芯貼り ・縫製(衿、カフス、短冊) ・縫製(身頃、アウトポケット、ボタンホール、ボタン付け) ・組み立て方法、仕上げ方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	実技	工藤

項目	時限数	学 習 内 容	事前・事後学修	学習方法	担当教員
6	82-111 (30)	ワンピース ・有型を使用した裁断、芯貼り ・縫製(見返し仕立て) ・縫製(コンシールファスナー、基礎ミシン縫い、ギャザー) ・組み立て方法、仕上げ方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	実技	工藤
7	112-138 (27)	パンツ ・オリジナルパターンの仮縫い方法と試着補正 ・縫製(持ち出し、カーブポケット、片玉縁) ・縫製(脇ポケット、ベルト付け) ・組み立て方法、仕上げ方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	実技	工藤
8	139-168 (30)	ジャケット1 ・仮縫い方法と試着補正 ・表地の裁断、印つけ、テープ貼り ・裏地の裁断、印つけ ・裏地、表地の組み立て方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	実技	工藤
9	169-198 (30)	ジャケット2 ・縫製(ダーツ、箱ポケット、玉縁ポケット) ・縫製(身頃、衿、袖作り、袖つけ、中綴じ) ・組み立て方法、手縫い工程の方法 ・組み立て方法、仕上げ方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	実技	工藤
10	199-278 (80)	ショー作品1 ・仮縫い方法と試着補正 ・オリジナルパターンを使用した裁断、芯貼り ・素材に合わせた縫製準備、テープ貼り	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	実技	工藤
11	279-360 (82)	ショー作品2 ・デザインに合わせた縫製 ・デザインに合わせた組み立て方法 ・デザインに合わせた仕上げ方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	実技	工藤

授業科目名	服装造形 平面構成 I【服装造形 平面構成】							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	無	時限数	90	単位数	3
担当教員	工藤 益美	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル縫製工場での縫製・パターン作成の経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	人体を計測観察し、立体の基礎知識と製図の基本を学修する。文化式原型、スカート、シャツ・ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品の製作を通じ、平面構成による製図方法を学ぶ。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・製図の基本である平面構成の製図方法を、スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品の製作を通じて行うことができる。 ・製図道具、補正、パターン展開を理論的に考え、説明・製図を実践することができる。 							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	試験	70	試験、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座②『スカート・パンツ』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局) ・一般社団法人日本ファッション教育振興協会『パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック』 ・一般社団法人日本ファッション教育振興協会『洋裁技術認定試験問題集』 							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-30 (30)	製図① ・文化式原型の製図と補正方法 ・ダーツの理解と移動方法 ・基本的な製図(スカート、ブラウス、パンツ、ジャケット)	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 問題集を使用して該当箇所の復習	実習	工藤
2	31-60 (30)	製図② ・袖の製図と運動量に対する袖山の関係性 ・袖山の高さ、幅、運動量の関係 ・袖の製図と基本製図の応用方法 ・ショー作品の製図	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 問題集を使用して該当箇所の復習	実習	工藤
3	61-70 (10)	裁断 ・基本的なブラウスやスカート、ワンピースなどの用布の見積もり	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 問題集を使用して該当箇所の復習	実習	工藤
4	71-80 (10)	パターンメイキング技術検定対策1 ・フラットパターンメイキング 身頃 ・フラットパターンメイキング 衿 ・フラットパターンメイキング 袖	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 問題集を使用して該当箇所の復習	実習	工藤
5	81-90 (10)	パターンメイキング技術検定対策2 ・工業用パターンメイキング ・グレーディング	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 問題集を使用して該当箇所の復習	実習	工藤

授業科目名	服装造形立体構成 I【服装造形 立体構成】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	古澤 暁子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	パターンメイキング1級検定資格を生かし、作図・縫製の実践的な授業を行う。 アパレル縫製工場での縫製・パターン作成の経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	工業用ボディを使用し、立体的裁断(ドレーピング)の基礎(一般知識・ボディの準備・裁断・タイトスカート・原型・フレアスカートのドレーピング)実演を学ぶ。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 立体的裁断(ドレーピング)の一般知識を使って、立体的裁断を行う上でのボディの選択と素材の地直し、適切な用尺の準備をすることができる。 タイトスカート、婦人原型、フレアスカートのドレーピングを実践することができる。 							
評価	評価対象	評価割合(%)		備考				
	作品	70		課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する				
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> プリント資料配布 参考文献 文化ファッション大系 アパレル生産講座⑤『工業パターンメイキング』文化服装学院編(文化出版局) 							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-6 (6)	基礎知識 ・工業用ボディについて ・トワルの種類と準備 ・パターンメイキングの基礎	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	実習	古澤
2	7-11 (5)	ドレーピング基本テクニック ・ピンの打ち方 ・縫い代に入れる切り込み ・マーキング(印しつけ)の方法 ・ドラフティングとパターンチェック	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	演習	古澤
3	12-20 (9)	身頃婦人原型 ・ゆとり配分 ・ドレーピング実技 ・ドラフティング ・ピン仕上げ	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	演習	古澤
4	21-29 (9)	スカート原型 ・ゆとり配分 ・ドレーピング実技 ・ドラフティング ・ピン仕上げ	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	演習	古澤
5	29-30 (1)	ドレーピング考察	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	実習	古澤

授業科目名	アパレル生産管理 I【生産企画・生産管理・アパレル品質論・素材論】							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	工藤 益美	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル縫製工場での縫製・パターン作成の経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	<p>生産企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材選びから、デザイン決め、着用シーンを考えた企画方法を学修する。 <p>生産管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産工場に倣い作品(製品)を提出日(納品日)までに計画的に生産する流れの中で、品質、原価、納期に関する知識を学修する。 <p>アパレル品質論・素材論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布地のもつ性質を理解し、製品前、製品後の取り扱いを学修する。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・素材特性に合わせ、生産するファッションアイテムを関係づけることができる。 ・スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品の製作を通じ、企画方法、生産管理、品質管理の知識をつけ、生産に伴う書類製作(縫製仕様書、指示書、工程分析表)を行うことができる。 ・素材、縫製仕様に合わせて製品着用後の取り扱い注意点を説明することができる。 							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	レポート	70	レポート、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座②『スカート・パンツ』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局) 							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-2 (2)	生産企画① スカート ・アイテム図と製品寸法(スカート)について ・課題作品のデザイン企画 ・課題作品に適した素材について	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成	講義 実習	工藤
2	3-5 (3)	生産企画② ブラウス ・アイテム図と製品寸法(トップス)について ・課題作品のデザイン企画 ・課題作品に適した素材について	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成	講義 実習	工藤
3	6-8 (3)	生産企画③ ワンピース ・アイテム図と製品寸法(ワンピース)について ・課題作品のデザイン企画 ・課題作品に適した素材について	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成	講義 実習	工藤
4	9-11 (3)	生産企画④ パンツ ・アイテム図と製品寸法(ボトム)について ・課題作品のデザイン企画 ・課題作品に適した素材について	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成	講義 実習	工藤
5	12-14 (3)	生産企画⑤ ジャケット ・アイテム図と製品寸法(トップス)について ・課題作品のデザイン企画 ・課題作品に適した素材について	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成	講義 実習	工藤

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	15-20 (6)	生産企画⑥ 校外ショー作品 ・アイテム図と製品寸法(トップス、ボトム、等)について ・課題作品のデザイン企画 ・課題作品に適した素材について	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成	講義 実習	工藤
7	21-22 (2)	生産管理① 基礎知識 ・アイテム図と製品寸法(原型)について ・縫製仕様書の書き方 ・縫製指示書の書き方 ・工程分析表の仕組み	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成	講義 実習	工藤
8	23-24 (2)	生産管理② スカート ・アイテム図と製品寸法(スカート)について ・水通しと、マーキング ・縫製仕様書・指示書の書き方 ・工程分析表の考え方と書き方	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成	講義 実習	工藤
9	25-26 (2)	生産管理③ ブラウス ・アイテム図と製品寸法(トップス)について ・水通しと、マーキング ・縫製仕様書・指示書の書き方 ・工程分析表の考え方と記号を使った書き方	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成	講義 実習	工藤
10	27-29 (3)	生産管理④ ワンピース ・アイテム図と製品寸法(ワンピース)について ・素材準備とマーキング ・縫製仕様書・指示書の書き方 ・工程分析表の考え方と記号を使った書き方	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成	講義 実習	工藤
11	30-32 (3)	生産管理⑤ パンツ ・アイテム図と製品寸法(パンツ)について ・素材準備とマーキング ・縫製仕様書・指示書の書き方 ・工程分析表の考え方と記号を使った書き方	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成	講義 実習	工藤
12	33-35 (3)	生産管理⑥ ジャケット ・アイテム図と製品寸法(トップス)について ・縮絨とマーキング ・縫製仕様書・指示書の書き方 ・工程分析表の考え方と記号を使った書き方	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成	講義 実習	工藤
13	36-40 (5)	生産管理⑦ ショー作品 ・アイテム図と製品寸法(トップス、ボトム、等)について ・素材準備とマーキング ・縫製仕様書・指示書の書き方 ・工程分析表の考え方と記号を使った書き方	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成	講義	工藤
14	41-50 (10)	アパレル品質論・素材論① ・素材に合わせた裁断、生産方法 ・製品後の着用時の取り扱いの注意	事前:実習の準備 事後:テキスト該当箇所の復習、考察	講義	工藤
15	51-60 (10)	アパレル品質論・素材論② ・製品後のクリーニング等の手入れの方法 ・製品後の破損時の修理方法	事前:実習の準備 事後:テキスト該当箇所の復習、考察	講義	工藤

授業科目名	パターンメイキング I【パターンメイキング】							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	1
担当教員	工藤 益美	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル縫製工場での縫製・パターン作成の経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・布の持つ性質を理解し、生産工場に倣い、作品(製品)を提出日(納品)までに計画的に生産する流れの中で、品質・原価・納期に関する認識を習得する。 ・スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品のデザイン画に合わせたシルエットの出し方、テクニックを平面作図、立体裁断を用いて学修する。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン画をもとに、流行、機能性、に考慮してパターンメイキングを実践することができる。 ・スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品のデザイン画に合わせたシルエットの出し方、テクニックを実践することができる。 							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	制作物	70	制作物、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座②『スカート・パンツ』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局) 							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	基礎知識 ・JISサイズ規格 ・トワルの種類 ・トワルの種類地直し ・原型	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	講義 実習	工藤
2	4-10 (7)	原型 ・文化式婦人原型、メンズ原型、袖の作図 ・スカート原型	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	講義 実習	工藤
3	11-15 (5)	スカート ・基本シルエットの作図(タイトスカート、ギャザースカート、ティアードスカート) ・デザインに合わせた作図の方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	講義 実習	工藤
4	16-20 (5)	ブラウス ・基本シルエットの作図(基本のシャツ、メンズ、レディース) ・デザインに合わせた作図の方法、パターンの展開	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	講義 実習	工藤
5	21-25 (5)	ワンピース ・基本シルエットの作図(ウエスト切り替え、シフト型、プリンセスライン) ・デザインに合わせた作図の方法、パターンの展開	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	講義 実習	工藤

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	26-30 (5)	パンツ ・基本シルエットの作図(ストレートパンツ) ・デザインに合わせた作図の方法、パターンの展開	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の振り返り・考察	講義 実習	工藤
7	31-35 (5)	ジャケット ・基本シルエットの作図(テーラードジャケット) ・裏地用パターン、衿のパターンの展開	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の振り返り・考察	講義 実習	工藤
8	36-40 (5)	パターン操作方法 ・ダーツの移動と分散、ダーツを利用したデザイン展開	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の振り返り・考察	講義 実習	工藤
9	41-50 (10)	ショー作品① ・デザインに合わせた作図の方法 ・デザインに合わせたパターンの展開	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の振り返り・考察	実習	工藤
10	51-60 (10)	ショー作品② ・シルエットの確認方法 ・パターンの展開の分量と調整方法	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の振り返り・考察	実習	工藤

授業科目名	アパレルパターンメイキング I【工業パターンメイキング】							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	工藤 益美	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル縫製工場での縫製・パターン作成の経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品のスカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品のシルエットパターンを工業用パターン化し、素材・縫製にあわせた縫い代の形状、パターン記号を学修する。							
到達目標	スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品のシルエットパターンを、素材・縫製に合わせた縫い代の形状、パターン記号を解釈し工業用パターン製作を行うことができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	制作物	70	制作物、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> 文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座②『スカート・パンツ』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	基礎知識 ・パターンメイキング用語 ・JISサイズ規格 ・衣料パターンの表示記号	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト、プリント資料の復習	講義 実習	工藤
2	4-6 (3)	スカート ・シルエットパターンの縫い代の付け方 ・パターン情報の記入方法(裁断時、縫製時)	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト、プリント資料の復習	講義 実習	工藤
3	7-9 (3)	ブラウス ・シルエットパターンの縫い代の付け方(反転形状) ・パターン情報の記入方法(裁断時、縫製時)	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト、プリント資料の復習	講義 実習	工藤
4	10-12 (3)	ワンピース ・シルエットパターンの縫い代の付け方(反転形状、直角形状) ・パターン情報の記入方法(裁断時、縫製時)	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト、プリント資料の復習	講義 実習	工藤
5	13-15 (3)	パンツ ・シルエットパターンの縫い代の付け方(反転形状、直角形状) ・パターン情報の記入方法(裁断時、縫製時)	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト、プリント資料の復習	講義 実習	工藤

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	16-19 (4)	ジャケット ・裏地用パターンの縫い代の付け方 ・パターン情報の記入方法(裁断時、縫製時)	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト、プリント資料の復習	講義 実習	工藤
7	20-24 (5)	ショー作品① ・パターン上への縫い代始末の情報の記載方法 ・パターン上へのステッチ線、ガイドラインの情報の記載方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト、プリント資料の復習	実習	工藤
8	25-30 (6)	ショー作品② ・パターン上への縫製時の組み立て情報の記載方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト、プリント資料の復習	実習	工藤

授業科目名	ファッションデザインⅠ 【ファッションデザイン画・クロッキー・ファッションデザインCG・テキスタイルデザイン】							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	無	時限数	90	単位数	3
担当教員	工藤 益美・岩瀬 聡子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル縫製工場での縫製・パターン作成の経験を生かし、実践的な授業を行う。 企業でのテキスタイルデザイナーを経験後、広告、ロゴデザイン等の実務を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	ファッションデザイン画(工藤) ・人体のプロポーション、衣服着装の表現基礎テクニックを中心として学修する。 クロッキー(岩瀬) ・対象物を素早く描くことで、そのものの動きや変化を大きく捉え、表現力を学修する。 ファッションデザインCG(岩瀬) ・フォトショップ、イラストレーターを駆使し、デザイン作成方法を学修する。 テキスタイルデザイン(工藤) ・素材の知識や構造等、柄の種類等、テキスタイル知識を学修する。							
到達目標	・人体のプロポーション、衣服着装の表現を実践することができる。 ・基礎テクニックを中心として学び、素材表現までをデザイン画制作を通じて表現することができる。 ・対象物を素早く描くことで、そのものの動きや変化を大きく捉えた表現力(影の表現法、立体表現)をデッサンを通じて実践することができる。 ・フォトショップ、イラストレーターを駆使し、オリジナル企画書を作成する方法を作品制作を実施することができる。 ・素材の知識や構造等、柄の種類の種類をテキスタイル全般を解釈することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考					
	作品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	・文化ファッション大系 服飾造形講座④『ファッションデザイン画』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 服飾造形講座⑨『服飾デザイン』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 ・Adobe Illustrator ・Adobe Photoshop							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-6 (6)	ファッションデザイン画① ・デザイン画の種類と使用用途 ・人体のプロポーション	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	演習 実習	工藤
2	7-16 (10)	ファッションデザイン画② ・デザイン画の種類と使用用途 ・ハンガーイラストの描き方	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	演習 実習	工藤
3	17-26 (10)	ファッションデザイン画③ ・レイアウトの方法 ・着装と陰影	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	講義 実習	工藤
4	27-38 (12)	ファッションデザイン画④ ・着装と着色デザイン ・画材の特性 色鉛筆、パステル	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	講義 実習	工藤
5	39-48 (10)	ファッションデザイン画⑤ ・着色デザインと光の出し方 ・画材の特性 水彩、アクリル	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	講義 実習	工藤

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	49-54 (6)	ファッションデザイン画⑥ ・素材表現 ・毛皮、皮革、ツイード	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	講義 実習	工藤
7	55-60 (6)	ファッションデザイン画⑦ ・コンテスト向けのデザイン ・テーマの考え方 ・デザイン、シルエットのテクニック ・応募時のレイアウト方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	実習	工藤
8	61-64 (4)	クロッキー① ・クロッキーとは ・使用画材について ・人物デッサン(基本の書き方)	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	実習	岩瀬
9	65-68 (4)	クロッキー② ・クロッキーの表現性 ・人物デッサン(陰影)	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	実習	岩瀬
10	69-72 (4)	クロッキー③ ・デッサン上達のためのテクニック ・人物デッサン(着色)	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	実習	岩瀬
11	73-78 (6)	ファッションCG① ・ファッションデザインとグラフィックデザインについて、製品時の使用用途 ・グラフィックソフトの基本操作	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	実習	岩瀬
12	79-81 (3)	ファッションCG② ・グラフィックソフトの基本操作 ・ファッションアイテムのCG化と着色	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習	実習	岩瀬
13	82-84 (3)	ファッションCG③ ・グラフィックソフトの基本操作 ・提案時のデザインの考え方と方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:実技の復習 レポートの作成	実習	岩瀬
14	85-87 (3)	テキスタイルデザイン① ・テキスタイルデザインとは ・素材に合わせたデザインの表現	事前:染色図案の考察 事後:実技の復習	講義 実習	工藤
15	88-90 (3)	テキスタイルデザイン② ・テキスタイルデザインの作り方 ・デザインの配置について	事前:染色図案の考察 事後:実技の復習 レポートの作成	講義 実習	工藤

授業科目名	ファッションデザイン学 I【ファッション色彩学・服装史・ファッション情報】							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	きたむら千鶴・谷内 眞佐子・工藤 益美	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	カラー・WEB・グラフィックデザイナー、色彩心理学やパーソナルカラー等の企業での経験を生かして、実践的な授業を行う。 歴史的背景を踏まえたファッション作品の研究と経験を生かした実践的な授業を行う。 アパレル縫製工場での縫製・パターン作成の経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	ファッション色彩学(きたむら) ・色についての基礎的な知識、色彩によるデザインの変化や視覚的效果などを学修する。 服装史(谷内眞) ・古代から現代にいたる西洋を中心とした服装の推移、発展を映像を使って紹介し、今後のファッションデザインにその知識を生かせるように学修する。 ファッション情報(工藤) ・市場調査や、雑誌、TV、インターネット等をから情報収集しファッションデザインに反映させる考え方を学修する。							
到達目標	・色についての基礎的な知識を学修を通じ、カラーシステム、色相環を解釈することができる。 ・古代から現代にいたる西洋を中心とした服装の変遷を、ファッションデザインを応用することができる。 ・市場調査や、雑誌、TV、インターネット等をから情報収集し、ファッションデザインに適用することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	作品・レポート	70	課題作品、レポート、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	・文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑨『服飾デザイン』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑩『西洋服装史』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	ファッション色彩学① ・デザイン概論 ・基礎デザイン、コンポジション ・デザインの形態	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義 実習	きたむら
2	4-6 (3)	ファッション色彩学② ・色彩の科学 ・色と心理	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義 実習	きたむら
3	7-9 (3)	ファッション色彩学③ ・三属性とトーン ・色相環	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義 実習	きたむら
4	10-15 (6)	ファッション色彩学④ ・カラーシステム ・カラーコーディネーション	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義 実習	きたむら
5	16-17 (2)	服装史① ・衣服の原点	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義	谷内(眞)

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	18-19 (2)	服装史② ・古代の服飾 ・古代の衣服の変化	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義	谷内(眞)
7	20-21 (2)	服装史③ ・中世の服飾 ・中世の衣服の流行	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義	谷内(眞)
8	22-23 (2)	服装史④ ・近世の服飾 ・現代の衣服へのつながり	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義	谷内(眞)
9	24-25 (2)	ファッション情報① ・ファッションアイテムの分類 ・アイテムの名称と由来	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義	工藤
10	26-27 (2)	ファッション情報② ・情報収集と分析 ・分析の方法、まとめ方	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義	工藤
11	28-30 (3)	ファッション情報③ ・情報収集と分析 ・流行のアイテム、デザインの考察 ・流行アイテムの素材の考察	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義	工藤

授業科目名	服飾工芸Ⅰ【服飾手芸・テキスタイル・染色・アクセサリー】							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	工藤 益美・加藤 祐子・酒井 アキノ	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	<p>テキスタイルスクール(織り)の指導員を経て、作家活動や工房の運営経験を生かし、実践的な授業を行う。</p> <p>海外の織物博物館にて学芸員として培った染色研究経験、作家活動を生かした実践的な授業を行う。</p> <p>アパレル縫製工場での縫製・パターン作成の経験を生かし、実践的な授業を行う。</p>							
授業概要	<p>服飾手芸(工藤)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刺繍、パッチワーク等の、デザインと素材に合わせた技法の基礎を学修する。 <p>テキスタイル(加藤)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスタイルの機械を使用して実物製作を通じ織りの構造を学修する。 <p>染色(酒井)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生地への染色技法の基礎を、絞り染めの実習を通して学修する。 <p>アクセサリー(工藤)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に合わせたアクセサリーを製作し、基礎知識を学修する。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインと素材に合わせた刺繍の技法を使い創造し表現することができる。 ・織り機の使い方、織りの構造を解釈し、作品に表現することができる。 ・絞り染めの実習を通して染色の技法を使い表現することができる。 ・アクセサリー製作技法を使い、創造しの基礎を解釈し作品を表現することができる。 							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	作品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧『手芸』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-5 (5)	服飾手芸① ・刺繍とは ・糸と針の取り扱いの基本 ・基本のステッチの実物製作 (2種類)	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:課題作品の振り返り・考察	実技	工藤
2	6-10 (5)	服飾手芸② ・刺繍の図案の基本 ・基本のステッチの実物製作 (4種類)	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:課題作品の振り返り・考察	実技	工藤
3	11-15 (5)	服飾手芸③ ・刺繍の図案の基本 ・基本のステッチの実物製作 (3種類種類) ・製作アイテムの考察	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:課題作品の振り返り・考察 レポートの作成	実技	工藤
4	16-19 (4)	テキスタイル① ・テキスタイルとは ・織りの種類	事前:糸について興味を持つ 事後:課題作品の振り返り・考察	実技	加藤

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
5	20-24 (5)	テキスタイル② ・織り機の使い方 ・織り糸設置準備	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:実習の復習	実技	加藤
6	25-29 (5)	テキスタイル③ ・実物製作 ・織り機の使用方法 ・平織りの構造について	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:課題作品の振り返り・考察	実技	加藤
7	30-34 (5)	テキスタイル④ ・実物製作 ・織り構造別の織り機の使用方法 ・他の織りの構造について	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:課題作品の振り返り・考察	実技	加藤
8	35-39 (5)	テキスタイル⑤ ・製作作品の仕上げ方法 ・製作アイテムの考察	事前:手織りについて考察する 事後:課題作品の振り返り・考察 レポートの作成	実技	加藤
9	40-42 (3)	染色① ・染色とは ・染めの種類 ・製作アイテムの考察	事前:染めについて興味を持つ 事後:染色図案の考察	実技	酒井
10	43-45 (3)	染色② ・絞り染めの基本と使用用途 ・実物製作 ・製作アイテムの考察	事前:染色図案の考察 事後:レポートの作成	実技	酒井
11	46-48 (3)	アクセサリー① ・アクセサリーとは ・アクセサリーとコーディネート	事前:アクセサリーの情報を収集する 事後:課題作品の振り返り・考察 レポートの作成	実技	工藤
12	49-51 (3)	アクセサリー② ・アクセサリーデザイン ・使用資材について	事前:アクセサリーデザインの考察 事後:課題作品の振り返り・考察	実技	工藤
13	52-54 (3)	アクセサリー③ ・実物製作 ・土台と飾りの取り付け、仕上げ方法	事前:材料の選択、準備 事後:課題作品の振り返り・考察	実技	工藤
14	55-60 (6)	アクセサリー④ ・実物製作 ・着用者に合わせた製作後の調整について ・製作アイテムの考察	事前:材料の選択、準備 事後:課題作品の振り返り・考察 レポートの作成	実技	工藤

授業科目名	ファッションビジネス論Ⅰ 【ファッションビジネス論・ショップリサーチ・コンピューターワーク】							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	谷内 彩子・工藤 益美	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル企業でのパタンナー・生産管理経験を生かし、実践的な授業を行う。 アパレル縫製工場での縫製・パターン作成の経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	ファッションビジネス論(谷内彩) ・ファッションビジネス業界の基礎知識と現状を学修する。 ショップリサーチ(工藤) ・商品開発や広告の為の市場調査、分析の方法を学修する。 コンピューターワーク(工藤) ・PCの基本操作を学修し、文章入力、表計算の方法等を学修する。							
到達目標	ファッションビジネスの基礎知識から市場調査を通して、企画から生産までのプロデュースを実践することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	レポート	70	レポート、授業姿勢・態度を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	・プリント資料配布 ・Office Excel ・Office Word							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-2 (2)	ファッションビジネス論① ファッションとファッションビジネス ・ファッションとは ・衣服とファッションと生活 ・ファッションビジネス	事前:プリント資料該当箇所の予習 事後:プリント資料の復習、考察 レポートの作成	講義	谷内彩
2	3-4 (2)	ファッションビジネス論② 衣服制作のプロセス ・注文服(個別製作)のプロセス ・既製服(大量生産)のプロセス ・企画から販売まで流通の手順	事前:プリント資料該当箇所の予習 事後:プリント資料の復習、考察 レポートの作成	講義	谷内彩
3	5-6 (2)	ファッションビジネス論③ ファッション感性分析と考察 ・クラシック、エレガント、フェミニン、スポーティ、マニッシュ、モダン、エスニック、アバンギャルド	事前:プリント資料該当箇所の予習 事後:プリント資料の復習、考察 レポートの作成	講義	谷内彩
4	7-9 (3)	ファッションビジネス論④ アパレル繊維素材論 ・天然繊維、再生繊維、化学繊維 ・テキスタイルの柄のバリエーション ・クリーニング時の取り扱い	事前:プリント資料該当箇所の予習 事後:プリント資料の復習、考察 レポートの作成	講義	谷内彩
5	10-12 (3)	ファッションビジネス論⑤ 国別アパレルブランドの分析 ・コレクション別の特徴と代表ブランド ・コレクションの製作について	事前:プリント資料該当箇所の予習 事後:プリント資料の復習、考察 レポートの作成	講義	谷内彩

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	13-19 (7)	ショッピングリサーチ① ・実店舗へマーケットリサーチ ・トレンドアイテム分析、考察	事前:プリント資料該当箇所の予習 事後:プリント資料の復習、考察 レポートの作成	講義 実習	工藤
7	20-27 (8)	ショッピングリサーチ② ・実店舗へマーケットリサーチ ・トレンド素材、カラー分析、考察	事前:プリント資料該当箇所の予習 事後:プリント資料の復習、考察 レポートの作成	講義 実習	工藤
8	28-30 (3)	コンピューターワーク ・ワード、エクセルの基本操作	事前:プリント資料該当箇所の予習 事後:プリント資料の復習、考察	演習	工藤

授業科目名	ファッションコーディネート I【コーディネート論・コーディネート演習・ヘアメイク】							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	工藤 益美・太田 悦子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	<p>アパレル縫製工場での縫製・パターン作成の経験を生かし、実践的な授業を行う。</p> <p>化粧品メーカーでのビューティーアドバイザー経験を生かし、美容に関する実践的な授業を行う。</p>							
授業概要	<p>コーディネート論(工藤)</p> <p>・アイテムや色彩を考えた、コーディネートの基礎知識を学修する。</p> <p>コーディネート演習(工藤)</p> <p>・着こなしや、着せつけなど演習を通して、コーディネートの基礎知識を学修する。</p> <p>ヘア・メイク(太田)</p> <p>・基礎化粧品法を学び、肌にあった手入れ方法、メイクアップ技術、顔の特徴に合わせたメイク方法を習得する。</p> <p>・フレグランスとネイルの基礎知識を学修する。</p>							
到達目標	<p>・ファッションアイテムとカラーコーディネートに合わせた表現をすることができる。</p> <p>・着こなしや、着せつけなど演習を通して、コーディネートを実践することができる。</p> <p>・基礎化粧品法、メイクアップ技術(フレグランス、ネイルを含む)を実践することができる。</p>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	試験	30	試験、課題・レポート、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	課題・レポート	40						
	授業態度・姿勢	30						
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-6 (6)	<p>コーディネート論①</p> <p>・ファッションコーディネートの考え方</p> <p>・カラーアイテムのコーディネート</p>	<p>事前:色について興味を持ち考察する</p> <p>事後:レポートの作成</p>	講義	工藤
2	7-12 (6)	<p>コーディネート論②</p> <p>・ファッションコーディネートの考え方</p> <p>・同色のときのコーディネート</p>	<p>事前:色について興味を持ち考察する</p> <p>事後:レポートの作成</p>	講義	工藤
3	13-18 (6)	<p>コーディネート論③</p> <p>・ファッションコーディネートの考え方</p> <p>・体型別コーディネート</p>	<p>事前:体型についての知識を予習する</p> <p>事後:レポートの作成</p>	講義	工藤
4	19-21 (3)	<p>コーディネート論④</p> <p>・ファッションコーディネートの考え方</p> <p>・個人に向けたパーソナルコーディネート</p>	<p>事前:リサーチを行ない情報を収集する</p> <p>事後:レポートの作成</p>	講義	工藤
5	22-27 (6)	<p>コーディネート演習①</p> <p>・ベーシックアイテムを使用したスタイリング</p>	<p>事前:アイテムについて知識を予習する</p> <p>事後:レポートの作成</p>	演習	工藤

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	28-33 (6)	コーディネート演習② ・トレンドアイテムを取り入れたスタイリング	事前:アイテムについて知識を予習する 事後:レポートの作成	演習	工藤
7	34-39 (6)	コーディネート演習③ ・体型に合わせたスタイリング	事前:体型についての知識を予習する 事後:レポートの作成	演習	工藤
8	40-42 (3)	コーディネート演習④ ・製作アイテムを使用したスタイリング	事前:製作アイテムの準備 事後:レポートの作成	演習	工藤
9	43-45 (3)	ヘアメイク① ・皮膚学、スキンケアについて	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習、考察	講義 演習	太田
10	46-49 (4)	ヘアメイク② ・基本の肌タイプとスキンケア	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習、考察	演習	太田
11	50-53 (4)	ヘアメイク③ ・4タイプの基本メイクアップ (セルフメイク)	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習、考察	演習 実技	太田
12	54-57 (4)	ヘアメイク④ ・4タイプの基本メイクアップ (対面メイク)	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習、考察	演習 実技	太田
13	58-60 (3)	ヘアメイク⑤ ・皮膚学、スキンケア、基本メイクの試験 ・フレグランスとネイルケア	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習、考察	演習 実技	太田

授業科目名	キャリア教育 I【就職ガイダンス・企業研修】							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	工藤 益美	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	企業での知識や経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	就職ガイダンス ・就職活動の進め方、インターネットや職業紹介所の利用方法を知る。 ・グループ面接、グループディスカッションの対応方法を習得する。 企業研修 ・企業訪問を行い、将来の職業に対する向上心を高め、専門知識を学修する意義を深める。 ・企業で即戦力となる、専門知識や技術及び態度を習得する。							
到達目標	就職ガイダンス ・就職活動の進め方を解釈し、インターネットや職業紹介所を利用した求職を行うことができる。 ・グループ面接、グループディスカッションに対応する適切な態度を実践することができる。 企業研修: 企業訪問や企業研修を行うことで、社会人としての考え方、行動を実践することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	就職ガイダンス① ・就職活動の進め方について	事前: 就職活動に興味を持つ 事後: 就職活動の計画を立てる	講義	工藤
2	4-8 (5)	就職ガイダンス② 札幌新卒応援ハローワーク実践 ・職業紹介所、インターネット職業紹介サイトの利用方法 ・求人票の見方 ・自己分析の仕方	事前: 資料該当箇所を読む 事後: 自己分析表などの作成	講義	工藤
3	9-13 (5)	就職ガイダンス③ 札幌新卒応援ハローワーク実践 ・グループ面接を想定した模擬面接 ・グループディスカッション	事前: 履歴書、自己分析表を読む 事後: 模擬面接の反省・振り返り	講義	工藤
4	14-30 (17)	企業研修 ・企業訪問先の業務内容について ・企業見学、研修	事前: 訪問企業について調べる 事後: 研修内容・態度の振り返り	実習	工藤
5					

授業科目名	一般教養 I【茶道・ビジネスマナー・美術鑑賞】							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	三品 あおい・工藤 益美	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	煎茶道竹峯流教授、マナープルトコール検定準1級取得経験を生かして、実践的な授業を行う。(三品)							
授業概要	<p>茶道(三品)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な日本文化に触れることで「文化」の持つ重要さを感じる。お茶の作法から礼儀までを習得する。 <p>ビジネスマナー(三品)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の仕方や姿勢、名刺交換の方法など、社会人として必要なマナーを学ぶ。 <p>美術鑑賞(工藤)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館・博物館・ギャラリーなどで芸術作品を鑑賞し、美の本質を知り教養を高め、創造力や感性を養う。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・茶道を通じて伝統的な日本文化に触れ、お茶の作法や礼儀、所作を行うことができる。 ・挨拶の仕方や姿勢など、社会人として必要なビジネスマナーを実践することができる。 ・美術館、博物館、ギャラリーなどの施設にて、芸術作品の見方と創造力を養い感性を磨くことができる。 							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・プリント資料配布(ビジネスマナー)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	茶道① ・日本式の作法とマナー ・ほうじ茶の淹れ方、茶席でのマナー	事前:伝統的日本文化に興味を持つ 事後:作法の振り返り、考察	演習	三品
2	4-6 (3)	茶道② ・煎茶の淹れ方、茶席でのマナー ・和装についての知識	事前:お茶の種類について調べる 事後:作法の振り返り、考察	演習	三品
3	7-9 (3)	茶道③ ・抹茶の立て方、茶席でのマナー ・これまでの授業のまとめ	事前:所作について意識する 事後:作法の振り返り、考察	演習	三品
4	10-25 (16)	ビジネスマナー ・挨拶、姿勢、名刺交換の方法 ・履歴書の書き方、就職活動に向けて ・手紙、宛名の書き方	事前:マナーについて興味を持つ 事後:挨拶、姿勢の振り返り、自主練習 手紙、宛名の書き方練習	講義 実習	工藤
5	26-30 (5)	美術鑑賞 ・美術館や展示会にて美術鑑賞	事前:鑑賞する美術、芸術の歴史や作品の背景について調べる 事後:鑑賞した作品について考察、レポートの作成	講義	工藤

授業科目名	特別授業【校外研修・特別講義】							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	工藤 益美	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル縫製工場での経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	校外研修 ・工場、作品展示会、ファッションショーなどを見学・参加し、知識及び情報を収集し感性を磨く。							
	特別講義 ・企業の方やデザイナーなど、様々な専門家を招き、講義を受けることによりファッション業界の現状を学ぶ。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を行うことによって、外部とコミュニケーションすることができる。 ・企業の方やデザイナーなど、ファッション業界の専門家から直接講義を受けることにより、専門知識や技術を学修する意義を解釈することができる。 							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	特になし							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-15 (15)	校外研修 ・工場、作品展示見学 ・ファッションショーなどの見学・参加	事前:研修先について情報収集する 事後:研修内容の振り返り	講義	工藤
2	16-30 (15)	特別講義 ・アパレルメーカーやデザイナーなどファッション業界の専門家による講義	事前:特別講師について情報収集する 事後:講義内容について振り返り・考察	講義	工藤
3					
4					
5					

授業科目名	学校行事							
科目担当責任者	工藤 益美	実務経験	有	<input type="radio"/> 無	時限数	30	単位数	1
担当教員	工藤 益美	区分	<input checked="" type="radio"/> 常勤	<input type="radio"/> 非常勤	授業期間	前期	後期	<input checked="" type="radio"/> 通年
実務経験を生かした教育内容								
授業概要	新入生歓迎会・募金活動・スクールピクニック・針供養などの行事を通し、コミュニケーション能力、社会貢献活動の意義、日本の伝統文化を学修する。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全学生が行事に参加することにより、他者とのコミュニケーションを強化することができる。 ・針供養を通し、日本の伝統行事を継承し解釈をすることができる。 							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-30 (30)	新入生歓迎会 募金活動 スクールピクニック 針供養	事前: 行事について情報収集する 事後: 行事内容について振り返り・考察	演習	工藤
2					
3					
4					
5					

授業科目名	服装造形論Ⅱ【服装造形論】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	120	単位数	4
担当教員	古澤 暁子・吉野 翠	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	パターンメイキング1級検定資格を生かし、作図・縫製の実務的な授業を行う。 縫製工場での縫製、ユニフォーム製造企業での企画・デザイナー経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	服装造形論Ⅰにて修得した基本的な衣服の構造と縫製法を理解した上で、アイテム別のデザインを応用し、また人体の計測観察をもとに立体の応用知識と技術を習得する。 スーツ・コート・フォーマルウェア(ショー作品)、子供服の歴史、デザイン、機能、素材に対するアパレル産業の商品企画から販売生産までの流れについて認識する。							
到達目標	・服装造形論Ⅰにて習得した基本的な衣服の構造と縫製法を解釈した上で、スーツ・コート・フォーマルウェア(ショー作品)、歴史、デザイン、機能、素材に対して実践することができる。 ・子供服のアパレル産業の商品企画から販売生産までの流れについて関連づけ、アパレルメーカーのプロセスについて説明することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	試験	70	試験、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座⑤『コート・ケープ』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 服飾造形講座⑥『服飾造形応用編Ⅰ(高級素材)』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 アパレル生産講座⑤『工業パターンメイキング』文化服装学院編(文化出版局) ・一般財団法人日本ファッション教育振興協会『パターンメイキング検定試験3級ガイドブック』『パターンメイキング検定試験2級ガイドブック』 							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-10 (10)	体型研究 (1)細部寸法の正しい計測、原型、パターン (2)原型について (成人女子身頃の形態による分類) (3)原型の各部の名称とダーツについて 胸ぐせダーツ 後ろ肩ダーツ ウエストダーツ (4)原型の補正方法 (5)体型の違いによる補正法 (6)パターン操作法 (7)ダーツ移動と分散 (8)平面展開による方法	『服飾造形の基礎』 パターンメイキング検定試験3級ガイドブック パターンメイキング検定試験2級ガイドブック 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	古澤 吉野
2	11-40 (30)	スーツ (1)スーツについて (2)ジャケットとは (4)ジャケットの変遷 (5)ジャケットの名称・デザイン 素材 (6)形態による名称 (7)素材による名称 (8)素材について	『ジャケット・ベスト』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	古澤 吉野

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
3	41-70 (30)	コート (1)コートについて (2)コートとは (3)コートの変遷 (4)コートの名称・デザインについて (5)素材について (6)形態による名称 (7)素材のよる名称 (8)仕立てによる名称 (9)デザインと作図 (10)ストレートシルエットのコート (11)ラグランスリーブのコート (12)ルダンゴト (13)フレアコート (14)トレンチコート (15)ドロップショルダーコート (16)ダッフルコート (17)ヨークスリーブ (18)エポレートスリーブ (19)ドルマンスリーブ (20)スクエアースリーブ (21)キモノスリーブ (22)まちについて (23)ハイネック (24)フード (25)フードの図り方	『コート・ケープ』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト内容に準ずる問題集を行う	講義	古澤 吉野
4	71-90 (20)	商品企画 (1)デザインについて (2)アパレル業界のプロセス (3)縫製仕様書・加工仕様書・縫製工程表 (4)サンプル縫製 (5)検品 (6)販売	『工業用パターンメイキング』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	講義	古澤 吉野
5	91- 110 (20)	フォーマルウェア(ショー作品)・応用作品 (1)シルキータッチの素材 (2)プリーツについて (3)フォーマル素材の説明 (4)透ける素材の扱い方 (5)レースについて (6)特殊素材について (7)皮革について	『服飾造形応用編 I (高級素材)』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	講義	古澤 吉野
6	111- 120 (10)	子供服 (1)子供服の基礎知識 (2)子供服の変遷 (3)子供の体型の特徴と成長	プリント資料配布 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習	講義	古澤 吉野

授業科目名	服装造形 デザインⅡ【服装造形 デザイン】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	古澤 暁子・吉野 翠	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	パターンメイキング1級検定資格を生かし、作図・縫製の実務的な授業を行う。 縫製工場での縫製、ユニフォーム製造企業での企画・デザイナー経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	衣服と素材のデザイン、アイテム別の成り立ち、スーツ・コート・フォーマルウェア(ショー作品)、子供服の基本のデザインから応用デザインまでの構造を学ぶ。アイテム別ディティールの応用力を身につける。 アパレル産業での商品企画を学び、販売商品のデザインを発想する力を習得する。							
到達目標	・スーツ・コート・フォーマルウェア(ショー作品)のデザインを通じ、アイテム別の服装知識、ディティールをデザインし、応用することができる。 ・アパレル産業での商品企画について関係づけ、販売商品のデザインを創造することができる。 ・子供服のデザインについて年齢別に衣服の構造の違いを説明することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考					
	レポート	20	課題作品、レポート、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	作品	50						
	授業態度・姿勢	30						
教材	・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座⑤『コート・ケープ』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 服飾造形講座⑥『服飾造形応用編Ⅰ(高級素材)』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 アパレル生産講座⑤『工業パターンメイキング』文化服装学院編(文化出版局) ・一般財団法人日本ファッション教育振興協会『パターンメイキング検定試験3級ガイドブック』『パターンメイキング検定試験2級ガイドブック』							

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-2 (2)	体型研究 (1)細部寸法の正しい計測方法、原型のかき方・作り方、パターン操作 (2)衣服素材とデザイン	『服飾造形の基礎』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	演習 実習	古澤 吉野
2	3-12 (10)	スーツ (1)ジャケットのデザインと作図 (2)テーラードジャケット (3)ピークトラペルのジャケット (4)ダブルプレスト (5)プリンセスラインのジャケット (6)ショールカラーのジャケット (7)パネルラインのジャケット (8)シャツカラーのジャケット (9)カーブドラペルのジャケット (10)カーディガンジャケット	『ジャケット・ベスト』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	演習 実習	古澤 吉野

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
3	13-22 (10)	コート (1)コートの名称・デザインについて (2)形態による名称 (3)素材のよる名称 (4)仕立てによる名称 (5)デザインと作図 (6)ストレートシルエットのコート (7)ラグランスリーブのコート (8)ルダングト (9)フレアコート (10)トレンチコート (11)ドロップショルダーコート (12)ダッフルコート (13)ヨークスリーブ (14)エポレートスリーブ (15)ドルマンスリーブ (16)スクエアスリーブ (17)キモンスリーブ (18)まちについて (19)ハイネック (20)フード	『コート・ケープ』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	演習 実習	古澤 吉野
4	23-35 (13)	商品企画 (1)デザインについて (2)アパレル産業のプロセス (3)縫製仕様書・加工仕様書・縫製工程表 (4)サンプル縫製 (5)検品 (6)販売	『工業用パターンメイキング』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の制作・復習	演習 実習	古澤 吉野
5	36-55 (20)	フォーマルウェア(ショー作品)・応用作品 (1)シルキータッチの素材 (2)プリーツについて (3)フォーマル素材の説明 (4)透ける素材の扱い方 (5)レースについて (6)特殊素材について (7)皮革について	『服飾造形応用編 I』 高級素材 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤 吉野
6	56-60 (5)	子供服 (1)子供のデザインについて (2)衣服の説明 乳児期・幼児期・園児・小学校・中学校	プリント資料配布 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習	演習 実習	古澤 吉野

授業科目名	服装造形ソーイングⅡ【服装造形ソーイング】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	(有)	無	時限数	270	単位数	9
担当教員	古澤 暁子・吉野 翠	区分	(常勤)	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	パターンメイキング検定1級資格を生かし、作図・縫製の実務的な授業を行う。 縫製工場での縫製、ユニフォーム製造企業での企画・デザイナー経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	衣服の構造と縫製法を、スーツ・コート・フォーマルウェアの製作を通じて、ミシンの取り扱い、地直し、印つけ、仮縫い合わせ・補正、裁断、縫製を学修する。 アパレル商品が縫製工場でどのように縫製し生産されているのかを学び、複数量を生産する量産縫製技術を学ぶ。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の構造と縫製法を、スーツ・コート・フォーマルウェア(ショー作品)の製作を通じて、ミシンの取り扱い、地直し、印つけ、仮縫い合わせ・補正、裁断、縫製ができる事を可能とする。 アパレル商品が縫製工場でどのように縫製し生産されているのかを理解し、複数量を生産する量産縫製技術を習得する。 							
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考					
	作 品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教 材	<ul style="list-style-type: none"> 文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座⑤『コート・ケープ』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 服飾造形講座⑥『服飾造形応用編Ⅰ(高級素材)』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 アパレル生産講座⑤『工業パターンメイキング』文化服装学院編(文化出版局) 一般財団法人日本ファッション教育振興協会『パターンメイキング検定試験3級ガイドブック』『パターンメイキング検定試験2級ガイドブック』 							

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	学習方法	担当教員
1	1-6 (6)	体型研究 (1)原型の補正 (2)縫製実技 (3)使用量の見積もりについて (4)地づめ(縮絨)地の目直し (5)裁断 (6)印つけ	事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の制作・復習	演習 実技	古澤
2	7-76 (70)	スーツ (1)シーチングと実物仮縫い方法と試着補正 (2)裁断と印つけ (3)仮縫い (4)試着補正方法とパターン修正 (体型別の補正方法) (5)テーラードジャケットの縫製法 (6)総裏仕立て (7)一重仕立て (8)半裏仕立て (9)背抜き仕立て (10)地直し(縮絨)について (11)表布の裁断 (12)柄合せ (13)裏布の裁断 (14)芯について (15)接着芯の裁断と貼り方 (16)実物生地で仮縫いする場合	事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の制作・復習	演習 実技	古澤

項目	時限数	学 習 内 容	事前・事後学修	学習方法	担当教員
3	77-90 (14)	スーツの部分縫い (1)無飾りのアウトポケット (2)両玉縁付きフラップポケット (3)テーラードカラーのくせとり方法 (4)テーラードカラーの縫い方 (5)ファスナーあき裏地ミシン始末 (6)見返しの縫い方	事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実技	古澤
4	91-140 (50)	コート (1)コートの仮縫い方法と試着補正法 (2)パターンメイキング (3)縮絨(地づめ) (4)裁断 (5)コートの芯と仮縫いにおける扱い方 (6)印つけ (7)仮縫い (8)試着補正とパターン修正 (9)パターンメイキング (10)裁断 (11)仮縫いにおける芯の扱い方 (12)仮縫い (13)コートの縫製法 (14)本縫いのための縫い代整理 (15)表衿・見返しのパターン修正と裁断 (16)芯の裁断と接着 (17)付属布の裁断 (18)裏布のパターンメイキングと裁断 (19)本縫い前の準備 (20)本縫い (21)コートの部分縫い (22)コートのポケットについて (23)斜めの箱ポケット (24)比翼布 (25)玉縁穴 (26)ルーシング飾り (27)リクラック飾り (28)松葉止め	事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の制作・復習	演習 実技	古澤
5	141-170 (30)	商品企画 (1)デザインについて (2)アパレル業界のプロセス (3)縫製仕様書・加工仕様書・縫製工程表 (4)サンプル縫製 (5)検品 (6)販売	事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の制作・復習	演習 実技	古澤
6	171-270 (100)	フォーマルウェア(ショー作品)・応用作品 (1)シルキータッチの素材 (2)プリーツについて (3)フォーマル素材の説明 (4)透ける素材の扱い方 (5)レースーについて (6)特殊素材について (7)皮革について	事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実技	古澤 吉野

授業科目名	服装造形 平面構成Ⅱ【服装造形 平面構成】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	90	単位数	3
担当教員	古澤 暁子・吉野 翠	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	パターンメイキング1級検定資格を生かし、作図・縫製の実務的な授業を行う。 縫製工場での縫製、ユニフォーム製造企業での企画・デザイナー経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	衣服と素材のデザインを応用し、スーツ・コート・フォーマルウェア(ショー作品)、応用作品の製作を通じ平面構成の技術を学ぶ。 各デザインに合わせた作図技術を学ぶ。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と素材のデザインについて基礎知識を応用し、スーツ・コート・フォーマルウェア(ショー作品)、応用作品の製作を通じ実践することができる。 ・課題に合わせた作図技術を行うことができる。 ・パターンメーカーとしての応用力を有するレベルに達することができる。 							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	試験	70	試験、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座⑤『コート・ケープ』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 服飾造形講座⑥『服飾造形応用編Ⅰ(高級素材)』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 アパレル生産講座⑤『工業パターンメイキング』文化服装学院編(文化出版局) ・一般財団法人日本ファッション教育振興協会『パターンメイキング検定試験3級ガイドブック』『パターンメイキング検定試験2級ガイドブック』 							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-6 (6)	体型研究 (1)パターン製作の基礎 (2)原型のかき方 (3)成人女子の体型と原型パターンの形状 ②原型の作り方、パターン操作を学ぶ (1)ダーツの移動と分散 (2)胸ぐせダーツのデザイン展開	『服飾造形の基礎』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義 実習	古澤 吉野
2	7-30 (24)	スーツ (1)ジャケットのデザインと作図 (2)テーラードジャケット (3)ピークドラペルのジャケット (4)ダブルプレスト (5)プリンセスラインのジャケット (6)ショールカラーのジャケット (7)パネルラインのジャケット (8)シャツカラーのジャケット (9)カーブドラペルのジャケット (10)カーディガンジャケット	『ジャケット・ベスト』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義 実習	古澤 吉野

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
3	31-48 (18)	コート (1)コートの名称・デザインについて (2)形態による名称 (3)素材のよる名称 (4)仕立てによる名称 (5)デザインと作図 (6)ストレートシルエットのコート (7)ラグランスリーブのコート (8)ルダングト (9)フレアコート (10)トレンチコート (11)ドロップショルダーコート (12)ダッフルコート (13)ヨークスリーブ (14)エポレートスリーブ (15)ドルマンスリーブ (16)スクエアスリーブ (17)キモノスリーブ (18)まちについて (19)ハイネック (20)フード	『コート・ケープ』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義 実習	古澤 吉野
4	49-66 (18)	商品企画 (1)デザインについて (2)アパレル業界のプロセス (3)縫製仕様書・加工仕様書・縫製工程表 (4)サンプル縫製 (5)検品 (6)販売	『工業用パターンメイキング』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作	講義 実習	古澤 吉野
5	67-84 (18)	フォーマルウェア(ショー作品)・応用作品 (1)シルキータッチの素材 (2)プリーツについて (3)フォーマル素材の説明 (4)透ける素材の扱い方 (5)レースについて (6)特殊素材について (7)皮革について	『服飾造形応用編Ⅰ』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の制作	講義 実習	古澤 吉野
6	85-90 (6)	子供服 (1)子供服制作に必要な計測 (2)計測法とJIS規格 (3)参考寸法 (4)体型と原型 (5)子供服原型について (6)原型のかき方	プリント資料配布 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の制作	講義 実習	古澤 吉野

授業科目名	服装造形 立体構成Ⅱ【服飾造形 立体構成】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	古澤 暁子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	パターンメイキング1級検定資格を生かし、作図・縫製の実務的な授業を行う。 縫製工場での縫製、ユニフォーム製造企業での企画・デザイナー経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 工業用ボディを使用し、立体裁断の基礎から応用まで学修する。 スカート応用、胸ぐせダーツ移動によるデザイン展開(ギャザー・タック)、ブラウス、衿のドレーピング技術を実習を通して学ぶ。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 一般知識、ボディの基準線準備、シーチングの裁断方法の技術を実践することができる。 スカート応用、胸ぐせダーツ移動によるデザイン展開(ギャザー・タック)、ブラウス、衿のドレーピング技術を実習を通して実践することができる。 パターンナーとして、基礎から応用までの技術を有するレベルに達することができる。 							
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考					
	作品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人日本ファッション教育振興協会『パターンメイキング検定試験3級ガイドブック』 一般財団法人日本ファッション教育振興協会『パターンメイキング検定試験2級ガイドブック』 文化ファッション大系アパレル生産講座④『立体裁断 応用編』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系アパレル生産講座⑤『工業パターンメイキング』文化服装学院編(文化出版局) 							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-6 (6)	立体裁断・ドレーピング ・胸ぐせダーツの応用展開 ・ドレーピング ・ドラフティング ・ピン仕上げ	『立体裁断 応用編』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤
2	7-12 (6)	前立てのある前中心ギャザー ・ドレーピング ・ドラフティング ・ピン仕上げ	『立体裁断 応用編』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤
3	13-18 (6)	ウエストからのドレープ ・ドレーピング ・ドラフティング ・ピン仕上げ	『立体裁断 応用編』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤
4	19-24 (6)	ギャザー入りのフレンチスリーブのブラウス ・ドレーピング ・ドラフティング ・ピン仕上げ	『立体裁断 応用編』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤
5	25-30 (6)	ブラウス ・ドレーピング ・ドラフティング ・ピン仕上げ	『立体裁断 応用編』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	31-48 (18)	ブラウスの衿 ・シャツカラー ・スタンドカラー ・フラットカラー ・ウイングカラー ・ピン仕上げ	『立体裁断 応用編』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤
7	49-56 (6)	ヨーク切替のゴアードスカート ・ドレーピング ・ドラフティング ・ピン仕上げ	『立体裁断 応用編』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤
8	57-60 (4)	工業ボディについて ・ボディの種類・サイズ ・ボディ各部の名称 ・パターンメイキングの基礎 ・基本テクニック	『立体裁断 応用編』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤

授業科目名	アパレル生産管理Ⅱ【生産企画・生産管理・アパレル品質論・素材論】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	古澤 暁子・吉野 翠	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	パターンメイキング1級検定資格を生かし、作図・縫製の実務的な授業を行う。 縫製工場での縫製、ユニフォーム製造企業での企画・デザイナー経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	生産企画:縫製工場での生産ラインの組立てを理解し、生産計画の方法を習得する。 生産管理:生産ラインで使用する縫製仕様書、加工指示書、裁断指示書等の書類について学修し、製造・生産の管理方法を習得する。 アパレル品質論・素材論:デザイン、素材に適した品質や取扱い方法を学修する。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・縫製工場での生産ラインの組立てと、生産計画の方法を行うことができる。 ・生産ラインで使用する縫製仕様書、加工指示書、裁断指示書等の書類作成や、製造・生産の管理を実施することができる。 ・布地の持つ性質を解釈し、新素材の情報や産地の特徴、企画・販売などに応用することができる。 ・デザイン、素材に適した品質や取扱いを実践することができる。 							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	レポート	70	レポート、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ファッション大系 アパレル生産講座①『アパレル生産企画』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 アパレル生産講座②『アパレル製造企画』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座③『アパレル素材論』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-6 (6)	生産企画① 生産実務 (1)生産担当実務の役割 (2)生産業務の進め方	『アパレル生産企画』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野
2	7-21 (15)	生産管理 (1)生産計画 (2)材料確認 (3)設計作業の計画	『アパレル生産企画』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野
3	22-29 (8)	生産企画② 生産実行 (1)生産工場設定 (2)納期管理	『アパレル生産企画』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野
4	30-39 (10)	生産企画③ 生産実務 (1)実務処理 (2)品質確認 (3)原価計算 (4)原価管理	『アパレル製造企画』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野
5	40-45 (6)	生産企画④ 検査と品質 (5)技術者と品質 (6)加工品質設定	『アパレル製造企画』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	46-50 (5)	アパレル品質論・素材論① 概論 ・繊維の分類 ・繊維の形状名称(用語について) ・繊維の鑑別 ・天然繊維(綿・麻・毛・絹)	『アパレル素材論』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野
7	51-55 (5)	アパレル品質論・素材論② 各繊維の種類 ・化学繊維(再生繊維・半合成繊維・合成) ・糸(紡績糸・フィラメント糸) ・糸の撚り構成	『アパレル素材論』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野
8	56-60 (5)	アパレル品質論・素材論③ 糸の太さの表示 ・ファンシーヤーン ・加工糸の種類 ・布地(織物・構造・組織) ・絹物・構造・特徴	『アパレル素材論』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野

授業科目名	パターンメイキングⅡ【パターンメイキング】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	120	単位数	4
担当教員	古澤 暁子・吉野 翠	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	パターンメイキング1級検定資格を生かし、作図・縫製の実務的な授業を行う。 縫製工場での縫製、ユニフォーム製造企業での企画・デザイナー経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平面構成・立体構成によるパターンメイキングの理論を理解し、応用ジャケット・コート・フォーマルウェア(ショー作品)のパターン能力を養う。 課題作品などの細目から素材の特性を考え、生産効率を考慮したパターンメイキングを学ぶ。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 平面構成・立体構成によるパターンメイキングの理論を解釈し、ジャケット・コート・フォーマルウェア(ショー作品)を応用することができる。 ファッション造形とパターンメイキングに関する基礎知識・技術を、パターンナーとしての基礎的な実技能力を有するレベルに達することができる。 企業のパターンナーとしての応用力を有するレベルに達することができる。 							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	制作物	50	制作物、レポート、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	レポート	20						
	出席状況	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> 文化ファッション大系アパレル生産講座⑤『工業パターンメイキング』文化服装学院編(文化出版局)・プリント資料配布 文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑦『アパレル生産管理』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 アパレル生産講座⑪『アパレル生産企画』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 アパレル生産講座⑫『アパレル製造企画』文化服装学院編(文化出版局) 							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-40 (40)	パターンメイキング論 ・パターンメイキング演習 ・アパレル産業の生産プロセス ・アパレルメーカーと縫製工場 ・アパレルメーカーの実務	『工業パターンメイキング』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野
2	41-60 (20)	縫製工場の実務 ・工程分析表 ・工程分析の記入方法 ・工程分析表作成	『アパレル製造企画』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野
3	61-80 (20)	縫製仕様書 ・縫製仕様書の記入方法 ・資材、仕様の知識	『アパレル生産管理』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野
4	81-100 (20)	加工裁断芯貼り指示書 ・加工芯貼り指示書記入方法 ・芯貼りや裁断の条件における知識	『アパレル生産管理』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野
5	101-120 (20)	品質のつくり込み ・品質向上へ向けた取り組み ・作業標準表の記入方法 ・原価計算 ・日程管理	『アパレル生産管理』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野

授業科目名	<p align="center">アパレルパターンメイキングⅡ 【工業用パターンメイキング・グレーディング・CADパターンメイキング・CADグレーディング】</p>							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	古澤 暁子・吉野 翠・宮越 由紀子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	<p>パターンメイキング1級検定資格を生かし、作図・縫製の実務的な授業を行う。 縫製工場での縫製、ユニフォーム製造企業での企画・デザイナー経験を生かし、実践的な授業を行う。 ユニフォーム製造販売企業でのアパレルCADの経験を生かし、実践的な授業を行う。</p>							
授業概要	<p>工業パターンメイキング(古澤・吉野) スーツ・コート・フォーマルウェア(ショー作品)、子供服の歴史、デザイン、機能、素材に対するアパレル産業の商品企画から販売生産までの流れについて認識する。 グレーディング(古澤・吉野):基本アイテムのグレーディング操作演習によりグレーディング理論の理解とパターン修正技術を学ぶ。 CADパターンメイキング・CADグレーディング(宮越) ・PCにてアパレルCADソフトを使用し、デジタルでのパターンメイキング、グレーディング基礎操作を学修する。</p>							
到達目標	<p>・工業用パターンメイキングに関する専門知識、技術、グレーディング技術を実践することができる。また、企業のパターンナーとしての応用力を有するレベルに達することができる。 ・CADパターンメイキング・CADグレーディングは、アパレルCADソフトを使用し、デジタルでのパターンメイキング、グレーディングの操作を行うことができる。</p>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考					
	レポート	20	レポート、制作物、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	制作物	50						
	授業態度・姿勢	30						
教材	<p>・文化ファッション大系アパレル生産講座⑤『工業パターンメイキング』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑦『アパレル生産管理』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 アパレル生産講座⑫『アパレル製造企画』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 ・東レACS株式会社クリアコンポⅡ(パターンマジック・マーカーマジック)</p>							

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	工業用パターンメイキング① パターン ・原型	『工業用パターンメイキング』 『アパレル生産企画』 『アパレル製造企画』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野
2	4-9 (6)	工業用パターンメイキング② スーツパターン ・フルパターン ・部分縫いパターン ・縫製工程 縫製仕様 ・工業用パターンメイキング	『工業用パターンメイキング』 『アパレル生産企画』 『アパレル製造企画』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野
3	10-15 (6)	工業用パターンメイキング③ 商品企画パターン ・フルパターン ・部分縫いパターン ・縫製工程 縫製仕様 ・工業用パターンメイキング	『工業用パターンメイキング』 『アパレル生産企画』 『アパレル製造企画』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野
4	16-21 (6)	工業用パターンメイキング④ コートパターン ・フルパターン ・部分縫いパターン ・縫製工程 縫製仕様 ・工業用パターンメイキング	『工業用パターンメイキング』 『アパレル生産企画』 『アパレル製造企画』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
5	22-30 (9)	工業用パターンメイキング⑤ 応用作品パターン ・フルパターン ・部分縫いパターン ・縫製工程 縫製仕様 ・工業用パターンメイキング	『工業用パターンメイキング』 『アパレル生産企画』 『アパレル製造企画』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤 吉野
6	31-35 (5)	CADパターンメイキング① ・CADの基本操作 ・原型トレースからパーツ化まで	事前:CADに興味を持つ 事後:課題作品の製作・復習	演習	宮越
7	36-40 (5)	CADパターンメイキング② ・CADの機能習得	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:操作の自主練習	演習	宮越
8	41-50 (10)	CADグレーディング ・グレーディング基礎(スカート) ・3DCADの基礎知識	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:操作の自主練習	演習	宮越
9	51-60 (10)	グレーディング パターンメイキング展開 ・マーキング ・グレーディング	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:操作の自主練習	演習 実習	古澤 吉野

授業科目名	ファッションデザインⅡ【ファッションデザイン画・ファッションCG】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	古澤 暁子・岩瀬 聡子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	企業でのテキスタイルデザイナーを経験後、広告、ロゴデザイン等の実務を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	<p>ファッションデザイン画(古澤)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザイン画に求められる実力の修得として、技術、知識、感性の3つの要素をカリキュラムにの課題として構成し、学生が独自の発想を具体的に表現できる実力を身につける。 ・現在のアパレル業界で流通している基本的なファッションアイテムを中心に衣服を明確に描く技術を習得する。 ・画材の使用や方法を習得しファッションデザイン画の表現力を養う。 <p>ファッションCG(岩瀬): オフィス系及びグラフィック系のソフトの基本を学びながら、目的・用途に応じたテクニックの操作を習得し表現方法を広がりをもつデザイン力を身につける。</p>							
到達目標	<p>ファッションデザイン画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザイン画を描く、技術、知識、感性を強化し、創作表現をすることができる。 <p>ファッションCG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトの基礎・応用を課題製作を通して操作することができる。また、表現方法を工夫することができる。 							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	作品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ファッション大系服飾造形講座④『ファッションデザイン画』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 ・Adobe Illustrator ・Adobe Photoshop ・Office PowerPoint 							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-9 (9)	ファッションデザイン画① コンテスト作品対応 ・コンテストの趣旨を理解 ・コンセプトを考えテーマを決める ・ファッションデザイン画の作成	『ファッションデザイン画』 事前: テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤
2	10-18 (9)	ファッションデザイン画② アイテム図の描き方 ・ファッションデザイン画のペン入れ ・ファッションデザイン画着色	『ファッションデザイン画』 事前: テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤
3	19-33 (15)	ファッションデザイン画③ ファッションデザイン画コンクール作品 ・独自のファッションデザイン・テーマ ・デザインコンセプトの考えとしての素材 ・テキスタイル製作など独自のアイデア	『ファッションデザイン画』 事前: テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤
4	34-39 (6)	ファッションデザイン画④ 各自の実物作品のデザイン ・スーツ ・コート ・商品企画 ・校外ショー作品	『ファッションデザイン画』 事前: テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
5	40-45 (6)	ファッションデザイン画⑤ 応用作品 ・ポートフォリオ ・コンセプトの探求とテーマに基づいたデザイン ・デザイン画表現方法 ・イメージとビジュアル表現	『ファッションデザイン画』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤
6	46-48 (3)	ファッションデザインCG① 教室利用の注意事項 ・個人ID利用の説明 ・フォルダ・ファイル操作 ・フォトタッチ系ソフト	事前:ファッションCGに興味を持つ 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	岩瀬
7	49-51 (3)	ファッションデザインCG② Photoshopの基本操作 ・画像の加工方法 ・画像の基本知識 ・画像選択 ・合成/加工/修正の方法と手順	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	岩瀬
8	52-54 (3)	ファッションデザインCG③ 課題 コラージュ製作 ・Illustratorの基本操作 ・必要な機能・操作	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	岩瀬
9	55-57 (3)	ファッションデザインCG④ ツール操作方法 ・図形 ・線の描画 ・文字の入力 ・課題 コラージュ製作	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	岩瀬
10	58-60 (3)	ファッションデザインCG⑤ Photoshop/Illustratorの連携操作製作 ・画像の配置とリンク ・画像ファイルの管理方法 プレゼンテーション作成 ・PowerPointの基本操作 ・スライドの作成 ・画像の利用	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	岩瀬

授業科目名	ファッションデザイン学Ⅱ 【ファッション色彩学・モード史・ファッション情報・テキスタイルデザイン概論・ファッション概論】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	阿部 弘・谷内 真佐子・古澤 暁子・吉野 翠・中島 義博	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレルショップを経営後、カラスクールを創設し、色彩教育経験を生かした実践的な授業を行う。 歴史的背景を踏まえたファッション作品の研究と経験を生かした実践的な授業を行う。 縫製工場での縫製、ユニフォーム製造企業での企画・デザイナー経験を生かし、実践的な授業を行う 美術系大学にて教授を務め、孔版全般にテキスタイル指導経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	ファッション色彩学：パーソナルカラーの基本知識を得て、色のイメージを豊かにする方法を学ぶ。 モード史：1920～1980年代までの服飾史を知り、現代のファッションとの関わりを考察する。 ファッション情報（古澤・吉野）：アパレル産業の現状・コレクション情報、最新のトレンド情報の知識を学ぶ。 テキスタイルデザイン概論（古澤・吉野）：繊維、糸、色の組織の組み合わせを理解し、テキスタイルデザインに表現する。 ファッション概論（中島）：デザインのための自由な発想と効果的な作業の方法を身につける。							
到達目標	ファッション色彩学：パーソナルカラーの基本知識を得て、色のイメージを豊かに表現することができる。 モード史：1920～1980年代までの服飾史を知り、デザインを発想し表現することができる。 ファッション情報：アパレル産業の現状・コレクション情報、最新のトレンド情報を解釈することができる。 テキスタイルデザイン概論：繊維、糸、色の組織の組み合わせを活かしたテキスタイルのデザインを創造することができる。 ファッション概論：目的のための発想と発想の製作に結び付けるデザインの要素と構成を行うことができる。また、デザインのための造形を行うことができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考					
	レポート・作品	60	レポート、課題作品、試験、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	試験	20						
	授業態度・姿勢	20						
教材	・一般社団法人日本カラーコーディネーター協会『色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級』改訂版日本興業新聞社 ・文化ファッション大系服飾関連専門講座⑥『西洋服装史』文化服装学院編(文化出版局) ・文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座③『アパレル素材論』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布							

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	ファッション色彩学① ・色彩活用としてのパーソナルカラー ・パーソナルカラーの基本	『色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級』 事前：テキストの該当箇所を読む 事後：課題作品の復習・復習	講義 演習	阿部
2	4-6 (3)	ファッション色彩学② ・色のイメージを豊かにする ・似合う色の基準を知る ・ドレーピング方法	『色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級』 事前：テキストの該当箇所を読む 事後：課題作品の復習・復習	講義 演習	阿部
3	7-9 (3)	ファッション色彩学③ ・似合う色を取り入れる ・色彩活用テクニック	『色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級』 事前：テキストの該当箇所を読む 事後：課題作品の復習・復習	講義 演習	阿部
4	10-12 (3)	ファッション色彩学④ ・StudyPoint ・簡易診断用カラーペーパーの使い方 ・簡易診断用カラーペーパー	『色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級』 事前：テキストの該当箇所を読む 事後：課題作品の復習・復習	講義 演習	阿部

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
5	13-15 (3)	ファッション色彩学⑤ ・色彩カラー検定受験要項 ・J-Colorとは ・公式テキスト ・パーソナルカラー診断用ドレープ	『色彩活用パーソナルカラー検定公式 テキスト3級』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の復習・復習	講義	阿部
6	16-18 (3)	モード史① ・オードリー・ヘップバーンについて 現代の服飾 ・1920年代の服飾(アールデコ) ・簡素と機能性	『西洋服装史』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義	谷内(真)
7	19-21 (3)	モード史② ・ジャンコクーとバレエ衣裳 ・ギャルソンヌスタイル ・1930年代の服飾(世界的大恐慌) ・1940年から50年代の服飾 ・戦後モードの指針ディオール ・ニュールック・1960年代の服飾・プレタポルテの時代へ	『西洋服装史』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義	谷内(真)
8	22-24 (3)	モード史③ ・1970年代の服飾 ・若者ファッションの時代へ ・1980年代の服飾 ・トレンドの多様化	『西洋服装史』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義	谷内(真)
9	25-27 (3)	モード史④ ・東京コレクション(黒の衝撃) ・モードのジャポニズム(ビデオ) ・ココ・シャネル ・ザ・ストリートオブコレクション①②	『西洋服装史』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義	谷内(真)
10	28-30 (3)	ファッション情報 ・パリコレクションについて ・ファッションアドバイザーの世界	事前:メディア情報誌の該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義	古澤
11	31-36 (6)	テキスタイルデザイン概論① ・繊維の分類 ・繊維の形状名称(用語について) ・繊維の鑑別 ・天然繊維(綿・麻・毛・絹)	『アパレル素材論』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤
12	37-42 (6)	テキスタイルデザイン概論② 各繊維の種類 ・化学繊維(再生繊維・半合成繊維・合成) ・糸(紡績糸・フィラメント糸) ・糸の撚り構成	『アパレル素材論』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤
13	43-48 (6)	テキスタイルデザイン概論③ 糸の太さの表示 ・ファンシーヤーン ・加工糸の種類 ・布地(織物・構造・組織) ・絹物・構造・特徴	『アパレル素材論』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義 実習	古澤
14	49-54 (6)	ファッション概論① シンメトリー入門 ・スタンピングによる単位系の構成 ・構想・アイディアスケッチ ・転写・スタンプ製作 ・スタンピング 埋め尽くし(10パターン)	事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の復習・復習	講義 実技	中島
15	55-60 (6)	ファッション概論② 版画 ・デザインの作成版画を掘る ・製版 シルクスクリーン	事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の復習・復習	講義 実技	中島

授業科目名	服飾工芸Ⅱ【服飾手芸・ニット・帽子・染色・アクセサリ】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	古澤 暁子・大川 寿美江・酒井 アキノ	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	パターンメイキング検定1級資格を生かし、作図・縫製の実践的な授業を行う 編み物教室の運営および編み物本の執筆経験を生かし、実践的な授業を行う。 海外の織物博物館にて学芸員として培った染色研究経験、作家活動を生かした実践的な授業を行う。							
授業概要	帽子・アクセサリ(古澤) ・服飾手芸の基礎知識を学び、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につける。 ・帽子の基本的な帽子から応用作品までの知識と技術を深める。 ・アクセサリの基礎知識を学び、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につける。 ニット(大川):ニットの基礎知識を学び知識と技術を学ぶ。 染色(酒井):染色に関する基礎的な知識と技法を習得する。テキスタイルについての理解を深める。							
到達目標	・服飾手芸の全般における基礎知識を、それぞれの技術を基にして服飾造形及び服飾小物などに応用発展することができる。 ・素材、テクニック、造形、色の組み合わせのバランス感覚を磨き表現することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考					
	作 品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教 材	・基本の編み方がわかる本『はじめましてのかぎ針教室』(文化出版局) ・プリント資料配布 ・文化ファッション大学服飾関連専門講座⑧『手芸』文化服装学院編(文化出版局)							

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-5 (5)	服飾手芸 ・手芸の一般知識 ・手芸の変遷や技術の種類について ・実物製作 ・各自の作品に合わせて作品製作	『手芸』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習 実技	古澤
2	6-8 (3)	ニット① かぎ針編み ・作り目 ・基礎的な編み方数種類 ・仕上げ方、作品仕上げ、提出	『はじめましてのかぎ針教室』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実技	大川
3	9-11 (3)	ニット② かぎ針編み ・作り目 ・基礎的な編み方数種類 ・仕上げ方、作品仕上げ、提出	『はじめましてのかぎ針教室』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実技	大川
4	11-16 (5)	帽子 ・帽子の一般知識 ・帽子の種類 ・帽子の素材 ・帽子の木型 ・帽子の用具 ・実物製作 ・採寸し実物パターン ・裁断・印付け ・本縫い	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	実技	古澤

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	17-22 (6)	染色① ・顔料樹脂染料による型紙捺染 ・型紙捺染の仕組み ・捺染の種類と版式	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	酒井
7	23-25 (3)	染色② 型紙製作と印捺、仕上げ方法 ・顔料樹脂染料の特徴と染料との比較 ・顔料による染色	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	実習	古澤
8	26-30 (5)	アクセサリー ・アクセサリーの一般知識 ・アクセサリーの変遷や技術の種類 ・実物製作 ・各自の作品に合わせて作品製作	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	実技	古澤

授業科目名	ファッションビジネス論Ⅱ【ファッションビジネス論・ショップリサーチ・販売実務】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	古澤 暁子・吉野 翠・谷内 彩子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	縫製工場での縫製、ユニフォーム製造企業での企画・デザイナー経験を生かし、実践的な授業を行う。 アパレル企業でのパタンナー・生産管理経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	ショップリサーチ・販売実務(古澤・吉野) ・ショップや街頭などの調査を通してリサーチ力を身につける。調べる、見る、聞きリサーチの基本を習得する。 ・ファッション産業の構造を理解し業界別にリサーチを行い、それぞれの特徴を学修する。 ファッションビジネス論(谷内彩):アパレル産業のさまざまな職業・職種を理解し、衣服が店頭で並ぶまでの流通を学ぶ。 ・アパレル産業において、産業構造(繊維・アパレル・小売)と現状を理解し、マーケティング、ブランドターゲット、ブランドコンセプトの組立てについて学ぶ。							
到達目標	・目的に合わせたリサーチを実践し、得られた情報分析をキャリアに結びつけ実践することができる。 ・アパレル産業において、産業構造(繊維・アパレル・小売)と現状を解釈し、特徴と問題点、社会と消費者の変化、国際環境の変化などファッション業界の変遷と実態を把握し、比較することができる。 ・マーケティング、ブランドターゲット、ブランドコンセプトの組立てについて実践することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考					
	レポート	70	レポート、授業姿勢・態度を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	・プリント資料配布 参考文献 ・文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑫『ファッションビジネス』文化服装学院編(文化出版局)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-5 (5)	ファッションビジネス論① ・アパレル産業での職種、職業について ・アパレル産業の構造について	事前:アパレルの職種について調べる 事後:授業内容の復習	講義	谷内(彩)
2	6-10 (5)	ファッションビジネス論② ・日本ブランドの歴史 ・ブランドターゲット、コンセプト、ブランド戦略について	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:授業内容の復習 レポートの作成	講義	谷内(彩)
3	11-15 (5)	ファッションビジネス論③ ・レポート発表 ・アパレル産業の現況	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:授業内容の復習	講義	谷内(彩)
4	16-25 (10)	ショップリサーチ ・市場調査	『ファッションビジネス』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成	演習 実習	古澤 吉野
5	25-30 (5)	販売実務 ・商品企画販売	『ファッションビジネス』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成	講義	古澤 吉野

授業科目名	ファッションコーディネートⅡ【コーディネート論・コーディネート演習】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	古澤 暁子・吉野 翠	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	縫製工場での縫製、ユニフォーム製造企業での企画・デザイナー経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	<p>コーディネート論</p> <p>・時代への適用力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネートの提案能力を養う。</p> <p>コーディネート演習</p> <p>・アクセサリーと色彩、素材を考えながら、トータルコーディネートの組合せを学ぶ。</p>							
到達目標	ファッションのトータルの着こなしや、着せつけなど実践的に取り組み応用することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	作品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	・文化ファッション大系ファッション流通講座⑦『コーディネートテクニック演出編』文化服装学院編(文化出版局)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-6 (6)	コーディネート論① ファッションコーディネートの基本的な知識と技術	『コーディネートテクニック演出編』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	講義	古澤 吉野
2	7-15 (9)	コーディネート論② ファッションイメージに視点を置いたコーディネート ・クラシック ・エレガント ・ロマンティック ・スポーティー ・エスニック ・マニッシュ ・モダン ・アバンギャルド	『コーディネートテクニック演出編』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	講義	古澤 吉野
3	19-22 (7)	コーディネート演習① アクセサリーに視点を置いたコーディネート	『コーディネートテクニック演出編』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤 吉野
4	23-30 (8)	コーディネート演習② 色彩と素材に視点を置いたコーディネート	『コーディネートテクニック演出編』 事前:テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	古澤 吉野

授業科目名	キャリア教育Ⅱ【就職ガイダンス・企業研修】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	古澤 暁子・吉野 翠	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	企業での知識や経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	就職ガイダンス ・就職にむけて、自己分析・履歴書・エントリーシートの書き方、面接練習等、実践的に習得する。 ・学校内外の会社説明会に積極的に参加する。 企業研修 ・企業訪問や協力企業にて企業研修(インターンシップ)を行い、将来の職業に対する向上心をもつ。 ・企業で即戦力となる、専門知識や技術及び態度を習得する。							
到達目標	就職ガイダンス ・自己について解釈し、他者に自身のことを説明することができる。履歴書、エントリーシートなどの書類作成、就職面接に対応する適切な態度を実践することができる。 企業研修: 企業訪問や企業研修を行うことで、社会人としての考え方、行動を実践することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-10 (10)	就職ガイダンス① ・就職活動の進め方について ・自己分析表の作成 (履歴書や面接時の自己PRとなる自己の性格や経験を文章化する)	事前: 職業について情報収集する 事後: 作成した自己分析表を読み、自己の強みを振り返る	講義	古澤 吉野
2	11-20 (10)	就職ガイダンス② ・履歴書の作成 自己分析表を元に作成する ・模擬面接① (各自が希望する職業、服飾関連企業にて面接する事を想定した模擬面接を行う)	事前: 資料該当箇所を読む 事後: 模擬面接①の反省・振り返り	講義	古澤 吉野
3	21-30 (10)	就職ガイダンス③ ・模擬面接② (模擬面接1での反省を踏まえ、再度模擬面接を行い改善を図る)	事前: 履歴書、自己分析表を読む 事後: 模擬面接②の反省・振り返り	講義	古澤 吉野
4	31-55 (25)	企業研修① ・企業訪問、企業研修への心構え (協力企業にて企業訪問、企業研修を行う)	事前: 訪問企業について調べる 事後: 研修内容・態度の振り返り	実習	古澤 吉野
5	55-60 (5)	企業研修② 実習記録の記入、反省と考察 (企業研修後、職業観を考え確立する)	事前: 研修内容をまとめる 事後: 自己の職業観についての振り返り	実習	古澤 吉野

授業科目名	一般教養Ⅱ【ビジネスマナー・美術鑑賞】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	古澤 暁子・吉野 翠・三品あおい	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	企業での知識や経験を生かし、実践的な授業を行う。 煎茶道竹峯流教授、マナープルトコール検定準1級取得経験を生かして、実践的な授業を行う。							
授業概要	ビジネスマナー(三品) ・挨拶の仕方や姿勢、名刺交換など社会人としてのマナーを学ぶ。 ・テクニカルスキル、ヒューマンスキル、コンセプチュアルスキルを学ぶ。 美術鑑賞(古澤・吉野) ・美術館・博物館・ギャラリーなどで芸術作品を鑑賞し、美の本質を知り教養を高め、創造力や感性を養う。							
到達目標	・社会人としての心構え、ビジネスマナーの基本を社会人として必要なマナーを行うことができる。 ・美術館、博物館、ギャラリーなどの施設にて、芸術作品の見方と創造力を養い感性をさらに磨くことができる。							
評価	説明することができる。	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	就職にも役立つビジネスマナー ・コミュニケーション ・笑顔の基本 ・話方の基本 ・挨拶の基本 ・名刺のマナー ・電話マナー ・お茶の淹れ方	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	演習 実習	三品
2	4-15 (12)	ビジネスマナー ・名刺・電話のマナー ・アポイントの取り方 ・エントリーシートの書き方 ・履歴書の書き方	事前:プリント資料の該当箇所を読む 事後:課題作品の製作・復習	講義 実習	古澤 吉野
3	16-30 (15)	美術鑑賞 ・美術館や展示会にて美術鑑賞	事前:鑑賞する美術、芸術の歴史や作品の背景について調べる 事後:鑑賞した作品について考察、レポートの作成	講義	古澤 吉野
4					
5					

授業科目名	特別授業【校外研修・特別講義】							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	古澤 暁子・吉野 翠	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	縫製工場での縫製、ユニフォーム製造企業での企画・デザイナー経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	校外研修 ・工場、作品展示会、ファッションショーなどを見学・参加し、知識及び情報を収集し感性を磨く。							
	特別講義 ・企業の方やデザイナーなど、様々な専門家を招き、講義を受けることによりファッション業界の現状を学ぶ。							
到達目標	・校外研修を行うことによって、外部とコミュニケーションすることができる。 企業の方やデザイナーなど、ファッション業界の専門家から直接講義を受けることにより、専門知識や技術を学修する意義を解釈することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	特になし							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-15 (15)	校外研修 ・工場、作品展示見学 ・ファッションショーなどの見学・参加	事前:研修先について情報収集する 事後:研修内容の振り返り	講義	古澤 吉野
2	16-30 (15)	特別講義 ・アパレルメーカーやデザイナーなどファッション業界の専門家による講義	事前:特別講師について情報収集する 事後:講義内容について振り返り・考察	講義	古澤 吉野
3					
4					
5					

授業科目名	学校行事							
科目担当責任者	古澤 暁子	実務経験	有	<input type="radio"/> 無	時限数	30	単位数	1
担当教員	古澤 暁子・吉野 翠	区分	<input checked="" type="radio"/> 常勤	<input type="radio"/> 非常勤	授業期間	前期	後期	<input checked="" type="radio"/> 通年
実務経験を生かした教育内容								
授業概要	新入生歓迎会・募金活動・スクールピクニック・針供養などの行事を通し、コミュニケーション能力、社会貢献活動の意義、日本の伝統文化を学修する。							
到達目標	・全学生が行事に参加することにより、他者とのコミュニケーションを強化することができる。 ・針供養を通し、日本の伝統行事を継承し解釈をすることができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容		授業形態	担当教員
1	1-30 (30)	新入生歓迎会 スクールピクニック 針供養	事前:行事について情報収集する 事後:行事内容について振り返り・考察	演習	古澤 吉野
2					
3					
4					
5					